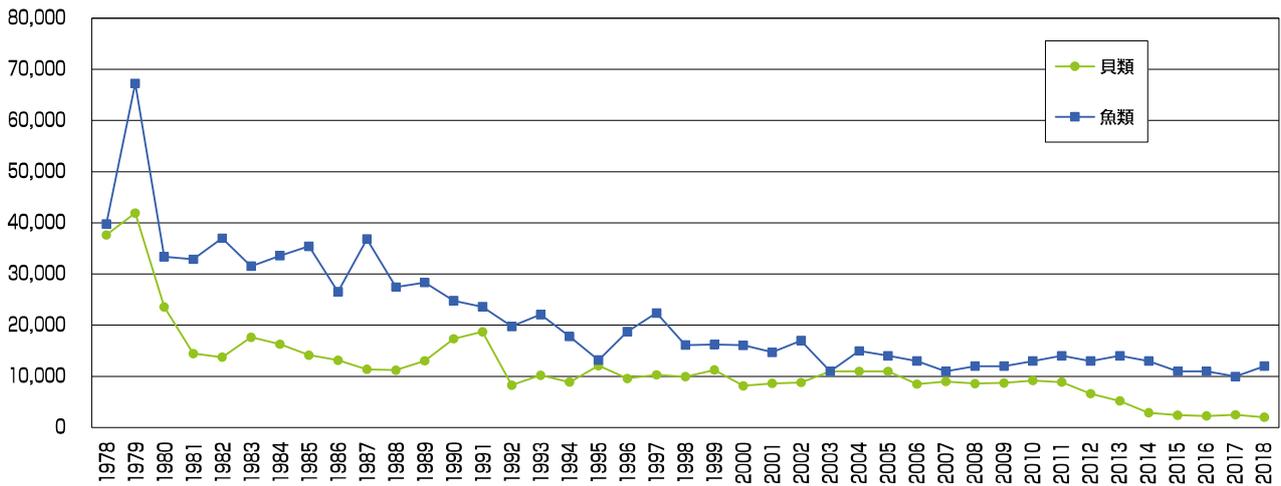


# POPs による日本国内の汚染状況は？

我が国では、POPsの環境中(大気・水・底質・生物)濃度を1970年代～80年代半ばより定期的に測定しています。法令の整備などを含むPOPs対策の進展に伴い、全体的に環境濃度は、1990年代半ばにかけて減少傾向で、2000年代以降は横ばい又は漸減傾向にあります。

## 【生物体内のPCB濃度】

(pg/g-wet)



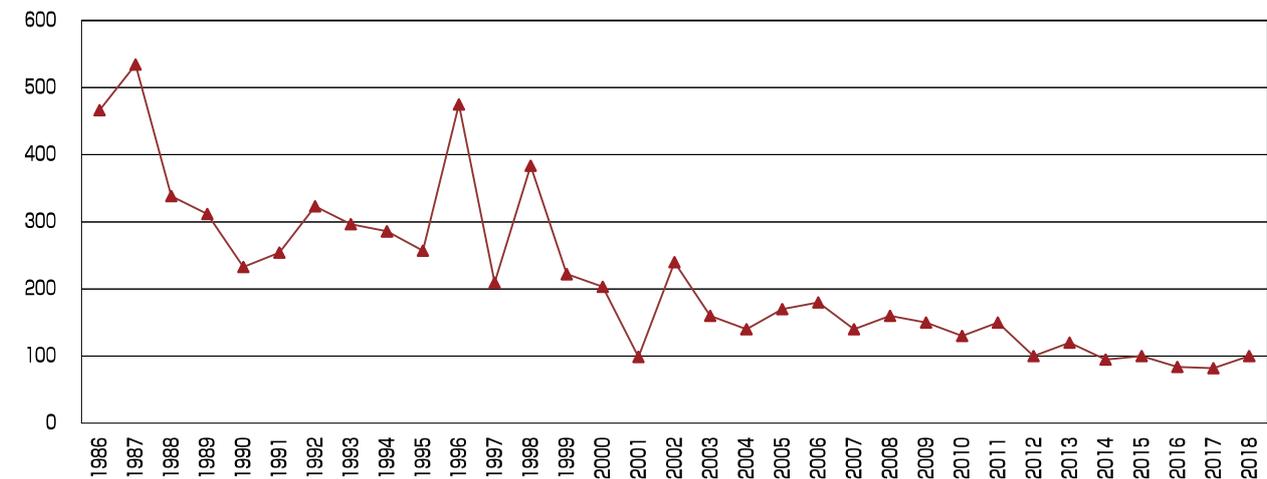
各年度の生物中PCB濃度は幾何平均値。

※1982～1983年度は調査地点が異なる。

【出典】化学物質と環境（環境省）より作成。

## 【底質中のヘキサクロロベンゼン濃度】

(pg/g-dry)



各年度の底質中ヘキサクロロベンゼン濃度は幾何平均値。

【出典】化学物質と環境（環境省）より作成。